

主な内容

代表質問・一般質問 …… 2～5面  
第2回臨時会・第2回定例会  
議案等の概要と結果・報告 …… 6面  
議場配置図・議会運営委員会  
及び特別委員会委員一覧 …… 7面  
常任委員会委員の紹介・会派等一覧 …… 8面

発行/渋谷区議会 〒150-8010 渋谷区宇田川町1番1号 ☎(3463)1096(直通)

渋谷区議会ホームページ  
<http://www.city.shibuya.tokyo.jp/gikai/>



（第6回渋谷「大好き」写真コンテスト入賞作品）  
オペラシティに架かる虹



岡田 監査委員



沢島 副議長



木村 議長

## 新しい議会人事決まる

議長 木村正義  
副議長 沢島英隆  
監査委員(議員選出) 岡田麻理

◆ 平成二十七年第二回臨時会は、五月二十日に開かれ、議長、副議長選挙を行い、新議長、新副議長が選出されました。また、監査委員の選任の同意、常任委員・議会運営委員の選任、議席の指定などを行い、議会の構成が決まりました。

◆ 平成二十七年第二回定例会は、六月十一日から二十四日までの十四日間開かれ、本会議初日には、五人の議員が代表質問を、二日目には、五人の議員が一般質問を行いました。

◆ 今定例会では、四つの特別委員会を設置し、それぞれの委員を選任後、新たに議会運営委員四人を選任しました。

◆ また、渋谷区基本構想等審議会条例など条例四件、補正予算一件、契約一件を可決、人事案件二件に同意、報告七件の聴取を行いました。さらに、議員派遣一件を決定するとともに、請願二件を不採択としました。

### 就任にあたって

議長 木村 正義

区民の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。私は、このたび本年五月二十日の第二回臨時会本会議において、議長に選出されました。

区議会議長という責任の重さを踏まえ、区民の皆様が夢と希望の持てる街・渋谷を目指し、全力を尽くしてまいります。ご意見を伺い、区民の皆様を取り巻く環境は、子育てや高齢者支援、教育、福祉など多岐に渡る課題が山積しております。

まず、本区において区庁舎の老朽化に伴う耐震強度不足の問題は、区民の安全と財産を守るためにも一刻も早い解決が求められております。発災時の初動対応の確立を始め、情報の収集と的確な被災対策を進める上で、司令塔となる庁舎建設は最重要の施策であります。

景気や経済においては回復傾向も見られるようになり、今後の区財政の堅調な伸びに期待したいと思いますが、将来を見据えた財政負担や後年度負担は極力抑えた中で新庁舎を建設することは、喫緊の課題であります。

さらに日常生活の中で、最も身近な基礎自治体である渋谷区は、様々な社会情勢が変化の中で、「渋谷の将来像」を見据えて、区政の進展を図ってまいります。

私たちが区議会は、今後も諸課題の解決と区民サービスの更なる向上のため、積極的に取り組んでまいります。

今後とも区民の皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。

代表質問

福祉、教育問題、子育て支援等 7 点を伺う



自由民主党 下嶋 倫朗 議員

福祉について

①地域包括ケアシステムについて、拠点としやすい公営病院のない渋谷区では、医師会・歯科医師会・薬剤師会の三師会との連携強化だけでは心もとないが、どう進めるか具体的なビジョンを。②「第六期渋谷区高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画」について、説明会や認知症相談会の予定は。③認知症対策の進捗状況と今後の方向性を。④障害者グループホームの新規建設補助事業については、民設民営の形態で決定しているが、将来の建替え等も視野に入れた場合に所有権の問題等が起りうる可能性がある。区所有で建設し貸与形式をとるべきと考えるが所見を。区長 ①区内には高度で専門的な治療を行う優れた医療機関が多数あり、今後も地域医療に力をあわせて三師会との連携をさらに推し進める。②説明会は区内の日常生活圏

域ごとに設置した四カ所の「機能強化型地域包括支援センター」で実施予定。認知症相談会は、渋谷区医師会の医師が認知症高齢者本人や家族、介護関係者等からの相談に応じることで、認知症の早期発見や適切な医療・介護保険サービスの利用につなぐ支援として、七月から開始する予定。③見守りサポート協会に対して、認知症研修会は六月から実施、医師会医師による認知症相談会は七月からの実施で最終調整中。今後は認知症カフェ、在宅医療相談窓口、地域包括支援センターなどの機能を統合した高齢者のための地域拠点の創設等順次進める。④民間事業者が整備することにより都の補助を活用することが可能。創意工夫を生かした併設事業により最も安定的な事業運営が可能になる。更

教育問題について

①学校選択制を導入し、小規模校も希望できる渋谷区において、情緒障害等通級指導学級の増設は、小中学校の適正規模を担保できるものであり、現在の学級数を維持できるものと高く評価する。今後学校の適正配置はどうあるべきか伺う。区長 各学校がそれぞれの特色を生かした教育を実施しており、また地域コミュニティと密接な関係を有している場合も多い。文部科学省の手引きの基準に単純にしたがって学校統合を検討することは慎重であるべき。また今後のあり方は本年度設置の総合教育会議において検討する。

子育て支援について

民間ビルのフロア活用や小規模保育の実施等あらゆる保育資源の活用も視野に入れているが、このことは他区に比べ認証保育所等小規模保育の導入が少なかった本区において大きな前進となった。二十八年度以降も待機児ゼロを目指しての方針、事業計画を伺う。区長 最近四年間で千人以上の定員拡大を図ったが、今年四月の待機児童は二百五十二人。このため年度途中でも新たな保育施設を順次開設する。七月に西原保育園ゆめの定員拡大、初台保育園と代々木保育園の仮園舎を活用した西原ほほえみ保育園、よよぎ三丁目保育室を開設、十月には代々木大山公園内に区立保育園を開設。また平成二十八年四月に向けて(仮称)児童福祉センター複合施設、旧代々木小学校跡複合施設、J.R新宿駅新南口ビル等に保育施設を整備、平成二十九年四月に向けては笹塚第二保育園複合施設の建替えや渋谷図書館を保育施設との複合施設に改修する予定。

児童相談所について

児童相談所の都から区への移管についての見解、及び各区に1カ所ずつ児童相談所が必要と考えるか所見を伺う。区長 養育困難や虐待について、相談や通告から調査、保護、家庭復帰、その後の見守りや施設入所等の社会的擁護に至るまで一貫した対応を迅速に実施することが可能となるため、本区に児童相談所は必要と考える。なお、移管される児童相談所の機能につい

プレミアム商品券について

プレミアム率、発行規模、販売単位と限度額、発売所、販売場所、販売予定日、有効期限を伺う。今回使用できる店舗はどうか、来年度以降の継続は。区長 プレミアム率は二十%、販売単位は五百円券を二十四枚綴りとした一冊を一万円で販売し総額二億四千万円、また十六歳以上の区民を対象として限度額は一人十冊、十万円と考えている。販売予定は十月初旬をめざし、年内いっぱいまでを期限として区内の商店街六ブロックにて商品券の引替えを行う予定。今回は区商店会連合会を主体とした発行事業とし、商店街未加入店の加入促進や換金手続きの簡素化等、小規模店舗でも取扱い店舗として参加しやすい

空き家対策について

五年に一度行われる住宅・土地統計調査では空き家率は、減少しているが、区でも「空き家対策特別措置法」を有効活用し対策をさらに進展させるべき。区長 固定資産税情報を活用し、空き家の所有者または管理者に対して適切な維持・管理をするよう改善指導している。改善がみられない場合は強制執行を視野に入れ、特定空き家に該当するか諮問する。空家家等対策計画の作成等の検討を進めたい。

自転車行政について

①六月から改正道路交通法が一部施行され、自転車の交通ルール違反の罰則が強化された。運転マナーの向上に向けた施策、また自転車利用に対する環境整備についてどのように取り組んでいくか。②中学生に対して具体的に目に見える方式での交通安全教室は今どこまで必要であると考えらる。自転車運転マナー、法律の遵守についての教育に対する今後の取組を伺う。区長 ①道路管理者や警察等によって構成される渋谷区自転車安全利用対策連絡会を定期的に開催している。今回の法改正を契機と捉え、この連絡会で今後の方向性について検討する。また、ナビマーク、ナビサイン、専用通行帯等の交通環境の整備も行っていく。②交通安全教育推進委員会を設置、交通安全指導

区政運営の基本姿勢について

①福祉、教育切捨ての前の区政の基本姿勢について見解を伺う。②住民福祉の増進を図ることを全面的に進める区政を。区長 ①評価は区民、議会

戦争法案反対、国民健康保険料引下げなど13点を質す



日本共産党 荒 孝二 議員

戦争法案 成立阻止について

戦争法案は憲法違反である。区民の平和の思いに立ち政府に意見を表明すべき。区長 国政で論議すべきもの。オスプレイ配備中止について 危険なオスプレイの米軍横田基地への配備中止を政府と都に要請すべき。区長 その考えはない。核兵器廃絶について 非核平和都市宣言を行い、平和首長会議に区長も参加すべきではないか。区長 平和首長会議の加盟については手続きを進めている。

区庁舎の建替え問題について

①三井不動産による庁舎の建替え計画に関する全情報を公開し説明会を開くべき。②これまでの計画は住民参加で見直すべき。区長 ①節目ごと議会や区民に説明し情報を明らかにしてきた。再度説明会を行う予定はない。②見直す予定はない。宮下公園の再開発について ①三井不動産による計画は白紙に戻すべき。②町会や商店会の意見を聞き住民に開かれた場で全ての情報を公開し都市公園の機能を生かした公園にしていくべき。区長 ①白紙に戻す考えはない。意見を開き進めている。幡ヶ谷二丁目の防災公園用地取得問題について ①なぜ土壌調査・入替え前に購入したのか。なぜ鑑定価格より高く買ったのか。②土壌の汚染状況を区民に知らせるべき。③高齢者住宅等は幡ヶ谷二丁目の都営住宅跡地を取得し、そこに設置する。区長 ①防災公園及び福祉施設整備の緊急課題解決のため購入。②公園等設置工事にあたっては、説明会を予定。取得要望を都に提出済。



過去に発行された商品券 (イメージ)



◀ 幡ヶ谷二丁目の防災公園  
用地周辺



河津町保養所廃止について

問 エレベーター等改善が求められている本館はいつ建てられたのか。六億五千万円も投入し、今後多くの改修費がかかる保養所は廃止すべき。区長 平成七年建築を確認済。施設の特徴や立地条件を生かして快適な施設を目指す。

国民健康保険料の引下げ

問 負担が限界に達している高い保険料引下げのため、国庫支出金の増額を求め一般財源からの繰入れを増やすべき。区長 その考えはない。

高齢者医療費無料化について

問 七十五歳以上の住民税非課税世帯を無料にすべき。区長 応分の負担は必要。

介護保険制度の改善について

問 保険料軽減策を非課税世帯に拡大し、利用料の二割負担中止を政府に求めるべき。区長 そうした考えはない。

特別養護老人ホームの増設

問 区長は選挙公約で増設を掲げており、推進すべき。区長 日本町東小跡地に百床規模の特養ホーム開設で一定程度整備されたと考えている。

防災・減災の対策、安心・安全の取組について等 7 点を伺う  
公明党 松山 克幸 議員

防災・減災の対策について

問 ①「きめ細やかな地域防災マップ」の野外掲示を提案する。いざという時、たとえ初めて見たとしても、一時集合場所や消火器、消火栓など有効な情報がわかる「地域防災マップ」を、野外、公共施設やマンションの掲示板などに広く掲示してほしい。②東京電力の地上用変圧器を利用して掲示している「災害時帰宅困難者支援(受入)施設地図」は、帰宅困難者にとって重要な情報であるため、区内に大きく広げてほしい。区長 ①現在の「渋谷区防災マニュアル」の全戸配布を準備しており、町会ごとに避難所を記載した地図を掲載した。この地図を活用して実地、まちを歩き、経路の確認や、

安心・安全の取組について

問 ①防災や衛生面など地域に深刻な影響を及ぼす空き家問題の解消に向けて、「空き家対策特別措置法」が全面施行された。区内の「特定空き家」の現状はどのようなものか。②区内に百八十軒以上あるコンビニエンスストアに AED の設置の協力をお願いしてはどうか。③区民の命を守る観点から、緊急時の「救急医療情報キット」活用システムの導入を提案する。区長の考えを伺う。

問 ①「しぶや区ニュース」のデザインや内容を刷新してはどうか。②新庁舎の完成の折に行われるワンストップサービスの折には、区民に最良の行政サービスとなるが、仮庁舎の期間、どのような窓口サービスになるのか。身近な行政サービスである出張所の活用を含め、ワンストップサービスへ向けて前進したものにしたい。区長の考えを伺う。

問 ①「しぶや区ニュース」のデザインや内容を刷新してはどうか。②新庁舎の完成の折に行われるワンストップサービスの折には、区民に最良の行政サービスとなるが、仮庁舎の期間、どのような窓口サービスになるのか。身近な行政サービスである出張所の活用を含め、ワンストップサービスへ向けて前進したものにしたい。区長の考えを伺う。



▷ 救急医療情報キット活用システムのイメージ

広報・行政サービスについて

問 ①特定空き家に該当する等、日頃から備えることが地域防災力を発揮することになる。区長は、必要に応じて街区表示板を「災害時帰宅困難者支援(受入)施設地図」へと更新し、併せて、Wi-Fi 環境の整備を進め、「渋谷区防災ポータルサイト」により、きめ細かな帰宅困難者対策を図る。

問 ①特定空き家に該当する等、日頃から備えることが地域防災力を発揮することになる。区長は、必要に応じて街区表示板を「災害時帰宅困難者支援(受入)施設地図」へと更新し、併せて、Wi-Fi 環境の整備を進め、「渋谷区防災ポータルサイト」により、きめ細かな帰宅困難者対策を図る。

公園について

問 オフィス街での喫煙ができない会社も多くなり、初台の緑道公園に設置された喫煙ボックスは大変に混み合っている。喫煙ボックスの横のマンションでは洗濯物をベランダに干せない、臭いのため窓が開けられない等の相談がある。何らかの対策が必要だが、区長の考えを伺う。

問 オフィス街での喫煙ができない会社も多くなり、初台の緑道公園に設置された喫煙ボックスは大変に混み合っている。喫煙ボックスの横のマンションでは洗濯物をベランダに干せない、臭いのため窓が開けられない等の相談がある。何らかの対策が必要だが、区長の考えを伺う。

問 ①「しぶや区ニュース」のデザインや内容を刷新してはどうか。②新庁舎の完成の折に行われるワンストップサービスの折には、区民に最良の行政サービスとなるが、仮庁舎の期間、どのような窓口サービスになるのか。身近な行政サービスである出張所の活用を含め、ワンストップサービスへ向けて前進したものにしたい。区長の考えを伺う。

問 今後、初台・代々木地域における子育て支援の施設、子育て広場の設置について。区長の考えを伺う。

問 資源持ち去り防止のため、罰則付きの条例を作り、区民に断固たる意志を示し、効果ある対策を推し進めるべき。区長 区と区民が協働して、持ち去りづらい環境をより明確なものとするを目的に、罰則付きの条例規定の整備に

区民施設について

問 葬儀も可能な使い勝手の良い「区民メモリーホール」の設置を進めたい。区長 以前、区民斎場を設置していたことがあったが、施設上の制約もあり、利用実績もほとんど無い状態が続いたことから、十年前に閉鎖した経緯がある。慎重に検討すべき課題と考える。

問 葬儀も可能な使い勝手の良い「区民メモリーホール」の設置を進めたい。区長 以前、区民斎場を設置していたことがあったが、施設上の制約もあり、利用実績もほとんど無い状態が続いたことから、十年前に閉鎖した経緯がある。慎重に検討すべき課題と考える。

「超福祉」について

問 ①「超福祉」政策の展開イメージを伺う。②施設等の表記は、障害者の「害」を平仮名に改めて。③窓口対応の ICT 化等で聴覚障がい者の補助手段導入を。④障がい者と健常者の競技大会開催を。⑤未来を体験する「超福祉展」への今後の関わり方を。区長 ①従来の概念や意識の

問 ①「超福祉」政策の展開イメージを伺う。②施設等の表記は、障害者の「害」を平仮名に改めて。③窓口対応の ICT 化等で聴覚障がい者の補助手段導入を。④障がい者と健常者の競技大会開催を。⑤未来を体験する「超福祉展」への今後の関わり方を。区長 ①従来の概念や意識の

これからの渋谷区政、超福祉、広報等 8 点を伺う  
シブヤ笑顔 田中 匠身 議員

問 渋谷区が世界の先進都市であるため必要な要素について伺う。②「トライ&エラー」とは具体的にどんな業務スタイルを想定しているのか。区長 ①住民と来街者の安全と安心を確保し魅力的な観光資源を生かす。学識経験者や公募区民等の審議会で渋谷らしく発展する方策について活発な意見を期待。②失敗を恐れず工夫と改善を重ね、世代を問わず意見・アイデアを交し前向きでアクティブ、クリエイティブに業務に取り組む。

問 渋谷区が世界の先進都市であるため必要な要素について伺う。②「トライ&エラー」とは具体的にどんな業務スタイルを想定しているのか。区長 ①住民と来街者の安全と安心を確保し魅力的な観光資源を生かす。学識経験者や公募区民等の審議会で渋谷らしく発展する方策について活発な意見を期待。②失敗を恐れず工夫と改善を重ね、世代を問わず意見・アイデアを交し前向きでアクティブ、クリエイティブに業務に取り組む。

問 「超福祉」政策の展開イメージを伺う。②施設等の表記は、障害者の「害」を平仮名に改めて。③窓口対応の ICT 化等で聴覚障がい者の補助手段導入を。④障がい者と健常者の競技大会開催を。⑤未来を体験する「超福祉展」への今後の関わり方を。区長 ①従来の概念や意識の

問 「超福祉」政策の展開イメージを伺う。②施設等の表記は、障害者の「害」を平仮名に改めて。③窓口対応の ICT 化等で聴覚障がい者の補助手段導入を。④障がい者と健常者の競技大会開催を。⑤未来を体験する「超福祉展」への今後の関わり方を。区長 ①従来の概念や意識の

壁を打ち破り、誰もが同じ生活ができれば渋谷区を目指す。「超福祉展」のテコノロジーやアイデアを取り入れ、当事者等の声を聞き「超福祉」を具体化してダイバーシティのまちづくりを目指す。②平仮名も含め誰もが分かりやすい表記を検討したい。③障害の種類や年齢等で多様な対応が必要。費用対効果等も踏まえ今後研究。④全ての参加者が楽しめる試みを支援したい。⑤区の共催で開催したい。

子育て支援について

問 ①子どもの創造性を伸ばせる保育施設等、特色ある整備をお願いしたい。②保育園新設の事業者選定と事業者提案の施設整備導入を伺う。③新設保育園へのフォロワー体制と子ども子育て会議の開催状況と成果を伺う。区長 ①民間のノウハウを生かし、土地の制約等や財政負担も総合的に判断して施設整備に努めたい。②良質な保育

問 ①子どもの創造性を伸ばせる保育施設等、特色ある整備をお願いしたい。②保育園新設の事業者選定と事業者提案の施設整備導入を伺う。③新設保育園へのフォロワー体制と子ども子育て会議の開催状況と成果を伺う。区長 ①民間のノウハウを生かし、土地の制約等や財政負担も総合的に判断して施設整備に努めたい。②良質な保育

問 「超福祉」政策の展開イメージを伺う。②施設等の表記は、障害者の「害」を平仮名に改めて。③窓口対応の ICT 化等で聴覚障がい者の補助手段導入を。④障がい者と健常者の競技大会開催を。⑤未来を体験する「超福祉展」への今後の関わり方を。区長 ①従来の概念や意識の

問 「超福祉」政策の展開イメージを伺う。②施設等の表記は、障害者の「害」を平仮名に改めて。③窓口対応の ICT 化等で聴覚障がい者の補助手段導入を。④障がい者と健常者の競技大会開催を。⑤未来を体験する「超福祉展」への今後の関わり方を。区長 ①従来の概念や意識の

問 「超福祉」政策の展開イメージを伺う。②施設等の表記は、障害者の「害」を平仮名に改めて。③窓口対応の ICT 化等で聴覚障がい者の補助手段導入を。④障がい者と健常者の競技大会開催を。⑤未来を体験する「超福祉展」への今後の関わり方を。区長 ①従来の概念や意識の



▷ 意識のバリアフリーをめざす「超福祉」(イメージ)

・教育の確保が前提で、事業者提案の民間ビルのフロア活用や小規模保育にも取り組む。  
 ③ 専門講師による研修や各園の意見交換会等を支援。子ども子育て会議は二十五年度にも二回、二十六年度に六回開催し、ニーズ調査、パブリックコメント分析、意見交換等を行い、子ども子育て支援事業計画を策定した。

**渋谷区男女平等及び多様性を尊重する社会を推進する条例**

**問** ①性的マイノリティのたのめ取組は。②パートナーシップ証明発行までの進め方は。

**区長** ①周知啓発として継続的リーフレット配布等や事業者講習会、職員等への研修で理解を深める。相談体制は経験を有する人材を配置しコミュニティスペース確保も検討。  
 ②推進会議を設置し当事者間の合意契約に明記する事項や証明書形態、運用方法を審議。議会に報告し十月中の発行為目標。

**住民の政治参加について**

**問** オンラインでの提案や署名システムの導入等、アクティブな渋谷区を実現しては。

**区長** 十分な議論が難しく費用等問題もあり研究課題とする。

**コミュニティ・スクール**

**問** コミュニティ・スクールの特色ある学校づくりの進捗状況と今後の進め方を伺う。

**教育長** 新たに広尾中を指定し、長谷戸小、猿楽小、鉢山中、松濤中の四校を指定。松濤中に学校支援本部を設置。教員公募制度活用で力量ある教師配置が可能となった。今年度中に区立中学校全校のこ

ミュニティ・スクール化を目指す地域との結びつきを強める特色ある学校づくりを進める。

**広報について**

**問** ①渋谷区ホームページに事業者のパナ広告掲載等や障がい者に配慮した音声読み上げ機能、平仮名併記、やさしい日本語を取り入れては。

**区長** ①ホームページは重要な情報発信ツール。パナや音声読み上げ機能は検討し、やさしい日本語は研究する。  
 ②区ニュースは、レイアウトや英語以外の外国語対応、障がい者向けふりがな表記等、さらに魅力あるものに。

**区長** ①ホームページは重要な情報発信ツール。パナや音声読み上げ機能は検討し、やさしい日本語は研究する。  
 ②(仮称)渋谷区ブランドイング委員会を検討したい。

**東京オリンピック・パラリンピックに関わる施策について**

**問** ①セグウェイ導入について伺う。②飲食店など屋内施設の禁煙や分煙の罰則付き条例を定めてはどうか。

**区長** ①渋谷の新たな魅力になるが道路管理者等と協議しなければならぬ。②屋内の喫煙施設を整備し、分煙ルールの周知徹底にも努めたい。

**区長選政策はじめ区政課題、教育、保育、健康政策を伺う**



民主 党  
鈴木 建邦 議員

**重要な区政課題について**

**問** ①基本構想に長官部カラーを。基本構想審議会には若手公募を。②十八歳選挙権では毎年啓発について若者自身が企画する取組を。③公共施設白書を。④多様性社会推進条例が公表規定等、慎重な運用を。⑤庁舎建替えは改めて説明が求められるが。⑥河津さくらんぼの里しぶやのリニューアル後の運営を。⑦情報公開制度は文書管理を適正化しコピー費用は十円にするよう努力を。⑧プレミアム商品券の成果と販売防止対策を伺う。

**区長** ①未来を見据えた幸福追求と方針の共有が大切。点検、修正し具体化プランを示す。公募は若い世代にも呼びかける。②主権者教育を検討。③白書に相当する公共施設等総合管理計画は平成二十八年中の完成を目指す。④女性団体と連携し附帯意見や公表の影響等も踏まえ慎重に対応。⑤昨年の説明会はか情報提供に努めては。⑥健康増進やレジャー拠点等や団体活動での積極的利用も目指す。指定管理者制度導入等で改善。⑦

電子化と作業効率化に努める。  
 ⑧平成二十一年度は二億三千万円を定額し一定の成果。商品券に販売禁止を明記したい。

**教育政策について**

**問** ①保育園との差が大きい放課後クラブの利用時間、おやつ、弁当等の改善を。②学力下位層への取組は。③アクティブラーニングの取組は。

④保護者との連絡円滑化、事務負担の軽減等の見直しを。  
**教育長** ①ニーズを把握し課題としたい。②理解度に合わせた少人数指導や土曜・放課後学習クラブ(まなび)でつまづきに応じた学習を提供。

③小・中学校ではグループディスカッション等や自ら問題解決する授業を実践。④実情を踏まえ校務改善等に努める。



▷放課後クラブの様子

**保育政策について**

**問** ①保育予約制度等の導入で保育需要を早期に把握して施設整備等対応を。②上原地区は早急に保育施設を。③区

立保育室は複数年利用とし認可園に遜色ない体制を。  
**区長** ①民間ビル活用や小規模保育園等の手法で待機児童解消に努める。②状況を勘案し検討。③複数年利用は困難。先進教育導入は検討する。

**予防医療について**

**問** 任意予防接種助成の効果はどう評価しているか。

**区長** 接種を受ける区民が増加。今後も啓発に努める。

**公園について**

**問** ①プレーパークの増設を。②みやたこうえんは支援団体と連携しホームレス対策を。  
**区長** ①プレリーダー確保等準備を要し将来的課題。②対策へプロジェクトを準備。

**一般質問**

**新庁舎等について問う**



堀切 稔仁 議員

**新庁舎について**

**問** ①区施設の最大課題である新庁舎事業について、敷地内に建てられる民間施設と新庁舎等がある。この区事業費、横に建つ民間事業費、総事業費について報告を求めます。また、今後の区民への住民説明会や意見交換、ワークショップの予定はあるか。②本当に二元代表制を理解されているのか。民間事業費が全く示されていない。これでは議会、区民に理解を得られない。二

百十一億円のみ出された。区長は区事業費、民間事業費、総事業費についてご存知なのか。③知っているのであれば議会に答えればよいのでは。これは誰もが今情報公開で得られる情報になっている。不動産鑑定にはこの計画が出されている。金額に関しては公表すべきではないか。議会の軽視している。二元代表制を理解していない。

**区長** ①定期借地権の評価額は二百十一億円と等価。民間施設の事業費は事業者が計画。新庁舎の使いやすさ等は区民や職員の意見も聞き進める。②二元代表制は関係なく、総事業費も知っている。③企業のノウハウの部分で行政の立場から言うことは何もない。

**高校生の医療費無料化**

**問** 子どもの成長を保障するべき。高校生の子を持つ親の切実な願いに応じて、また、子育てを支援するためにも、高校生の医療費無料化を。  
**区長** 財政負担等もあり、拡大する考えはない。

**保育園の待機児解消について**

**問** 区のニーズ調査結果でも、保護者の願いは認可保育園での良質な保育。国や都に全ての遊休地を明らかにするよう強く求め、認可保育園の増設で待機児解消を行うべき。  
**区長** 認可保育園に限らず、あらゆる保育資源の活用も視野に、様々な手法を検討し、待機児解消に努力を続ける。

**小中学校の給食費無償化、高校生の医療費無料化等を伺う**



日本共 産 党  
秋元 英之 議員

**小中学校の給食費無償化**

**問** 給食は食育であり、義務教育は無償が原則。保護者の経済的負担を軽減させ、未来ある子どもたちの学ぶ権利を保障し、子育て支援をするために無償化を。  
**区長** 就学援助による経済的負担の軽減で区の責務を果たしている。現在考えていない。






代々木上原駅周辺の自転車駐輪場について

違法駐輪対策として駐輪場を増やし、高校生は区内全ての駐輪場で利用料を無料に。区長 設備改修等で台数拡大を検討。無料の考えはない。

**空き家対策、公共施設のあり方、新国立競技場建設を伺う**



民主 党  
治田 学 議員

空き家対策について

①データ整備をどのように行い、どう扱っていくのか。②「空き家等対策計画」を作成するのか。除却に関して財政上の措置を考えているか。③現在、行政代執行による強制執行を適用しなければならぬケースはあるのか。区長の答弁を求める。

区長 ①既に整備したものを、状況により更新する。②今後の検討課題。③現段階はない。

再開発事業やマンション、建替えなどが行われる場合、建築物の高さや容積率の緩和などを認めることにより、事業者が地域貢献施設を求めることは大変有効と考える。区長の所見を伺う。

事業者に協力を求め、地域貢献施設を実現し、区民や地域にとって必要施設を確保する取組を進めたい。

①東京都に対し、説明会や区民が意見を伝える場を求めるべき。②都に意見照会を求めたい。③意見照会を求めたい。

①区として説明会等を求める考えはない。②意見照会を求めたい。③意見照会を求めたい。

**委員会・審議会の設置について等 3 点を伺う**



須田 賢 議員

プランニング委員会・基本構想審議会の設置について

人選は、区ニュース等で公募し、議会に報告するなどプロセスの改善方法はあると考えるが、今後どのように進めていくか、所見を伺う。

その設置目的にふさわしい方々を適切に人選し、適宜、議会へも報告する。


電線類の地中化について  
狭い道路、通学路や商店街等でも通行の妨げになる電柱がある。地中化を推進し

ていく考えがあるか伺う。区長 歩道幅員等諸条件の合致が必要で狭い道路については困難。課題として捉える。

町会連合会と話し合いながら、広告収入で更新や維持管理をするのも一つの手法であり、有効な手段と考える。区長の見解を伺う。

先行事例や手法を調査し、町会連合会や各町会とも相談し検討を進めていきたい。

**旧菊水館売買、公共施設白書、庁舎建替えについて伺う**



笹本由紀子 議員

旧菊水館売買について

河津さくらの里しぶやには既に六億円以上の税金投入。今後も運営費は毎年一億円以上。新区長は議員の時「あんないい場所が安く買えるのはすごいと思うんだよね。」と言われた。現在の心境は。

宿泊者から良い施設等の声。適切な金額と思う。

新区長の方針と公募メンバー選定の考えは。全ての保有施設について、計画の基礎となる公共施設の個別カルテ

は作成しているか。区長 国からの総合管理計画策定の要請により進め、人選等は意見として受け止める。施設ごとに改修工事の記録を作成し、資料で活用している。

庁舎建替えについて  
庁舎の備品やタイルを欲しいとの区民の声があるが公募しては。また「ありがたう」とさような区役所庁舎五十年」等の企画は考えているか。

備品は仮設庁舎で使用の壁のタイルは構造上取り外しの手間と費用等の関係で公募は考えていないが、現庁舎の最後に渋谷らしいイベントができないう検討中。



議会情報公開・個人情報保護実施状況

情報公開関係 (平成二十七年四月一日、六月三十日)

請求件数 四件  
文書件数 五十五件  
公開件数 四十八件  
非公開件数 (不存在) 七件

個人情報保護関係 (平成二十七年四月一日、六月三十日)

請求件数 〇件

傍聴するには

◆本会議の傍聴  
会議の当日、区議会事務局で、傍聴券に住所、氏名を記入し、交付を受けてから傍聴席に入ってください。(五十八席)

◆本会議は車椅子で傍聴できます  
車椅子のまま傍聴できるスペースを三台用意しています。手紙を説明しますので事前に議事係までご連絡ください。

◆本会議で手話通訳を行っています  
定例会初日の午後一時から五時までは手話通訳者を配置します。それ以外の日時をご希望の方は、七日前までに①住所②氏名③連絡先④希望日時を明記し、FAX等で庶務係までお申し込みください。

区議会事務局庶務係  
FAX 545814939  
TEL 346311094



本会議手話通訳

本会議での質問時間

渋谷区議会では、本会議での代表質問・一般質問に、会派の構成人数に基づき時間制を導入しています。

- ①三人以上の会派  
基礎時間三十分 + 構成人数×五分
- ②二人の会派  
基礎時間二十分 + 構成人数×五分
- ③無所属議員  
年間二十分 (第二回定例会から翌年第一回定例会まで)

なお、議長、副議長、監査委員は、計算上の構成人数に参入しません。区議会だよりの代表質問・一般質問の掲載字数についても質問時間に準じています。

会派名等	構成人数 (計算上の人数)	持ち時間
自由民主党	10人 (9人)	75分
公明党	6人 (5人)	55分
日本共産党	6人	60分
しぶや笑顔	5人 (4人)	50分
民主党	4人	50分
無所属議員	—	年間20分

\*質問・答弁は要旨を掲載しています。詳しい内容をお知りになりたい方は、区政資料コーナー、区立図書館で会議録(8月下旬発行予定)をご覧ください。

第一回臨時会

五月二十日の本会議は、区議会議員選挙後最初の本会議となるため、地方自治法第七七条に基づき、年長の染谷賢治議員が臨時議長となり、議長選挙を行いました。投票により、木村正義議員(自由民主党)が当選し、議長に就任しました。結果は、次のとおりです。

▼投票総数 三十四票
▼得票数 三十四票
木村 正義 議員 三十二票
堀切 稔仁 議員 二票

次に議席を指定し、会期を一日と決定しました。
続いて、副議長選挙を行いました。投票により、沢島英隆議員(公明党)が当選し副議長に就任しました。結果は、次のとおりです。

▼投票総数 三十四票
▼得票数 三十四票
沢島 英隆 議員 三十二票
堀切 稔仁 議員 二票

引き続き、四つの常任委員会と議会運営委員会の委員を選任した後、岡田麻理議員(シブヤ笑顔)を議員選出監査委員として、出席議員の全員一致により選任に同意しました。

▶開票風景



◆議員提出議案

Table with 2 columns: Item Name (件名) and Summary (概要). It lists two proposals regarding the revision of the Shibuya Ward Council Rules and the consent to the appointment of the Monitoring Committee.

平成 27 年 第 2 回 定 例 会 / 議 案 等 の 概 要 と 結 果

Table with 2 columns: Item Name (件名) and Summary (概要). It lists 12 proposals including committee appointments, budget adjustments, and facility construction, with corresponding voting results.

報 告

- ▼平成二十六年 度 渋谷区一般会計予算繰越明許費の繰越し
代々木小学校跡地複合施設(仮称)総合改修設計
繰越額 二百六十二万三千四百三十六円
河津区民保養施設大浴場棟整備事業
繰越額 二億六千五百二十九万五千円
西原地区保育室(仮称)建設工事
繰越額 一億二千九百四十八万二千二百円
上原地区保育室(仮称)建設工事
繰越額 一億二千九百六十万円
渋谷駅南口北側自由通路設計
繰越額 三千七百八十六万円
▼平成二十六年 度 渋谷区一般会計予算繰越し の 報告 について
渋谷駅街区北側自由通路整備事業
繰越額 二千七百五十六万一千円
▼株式会社渋谷都市整備公社の経営状況
二十七年 度 予 算 総 額 は、
十一億六千四百二十二万二千円です。
主な事業内容は、渋谷区役所前駐車場の管理運営です。
▼株式会社渋谷サービス公社の経営状況
二十七年 度 予 算 総 額 は、
十八億四千三百三十五万四千円です。
主な事業内容は、地域交流センター運営管理、スポーツセンター等運営管理です。
▼渋谷区土地開発公社の経営状況
二十七年 度 の 用 地 取 得 事 業 費 は、
六億四千二百二十万二千円です。
主な事業内容は、公共用地取得事業です。
▼一般財団法人渋谷区観光協会の経営状況
二十七年 度 予 算 総 額 は、
五千五百八十五万五千円です。
主な事業内容は、情報提供事業、観光案内事業です。
▼公益財団法人渋谷区美術振興財団の経営状況
二十七年 度 予 算 総 額 は、
一億八千二百二十五万四千円です。
主な事業内容は、区立松濤美術館の美術振興事業、教育普及事業です。

議 場 配 置 図															
区議会事務局書記				事務局長		議 長		理事者							
区議会事務局書記				演 壇				理事者							
行政委員・理事者				速記者席				区長・理事者							
12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1				
堀 切	笹 本	須 田	吉 田	治 田	伊 藤	田 中 (匠)	松 山	近 藤	一 柳	藤 井	齊 藤 (貴)				
24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13				
五十嵐	牛 尾	田 中 (正)	秋 元	鈴 木	小 柳	岡 田	沢 島	久 永	下 嶋	佐 藤	斎 藤 (竜)				
※数字は議席番号				34	33	32	31	28	27	26	25				
				菅 野	苫 苦	芦 沢	薬 丸	染 谷	木 村	丸 山	前 田				
手話通訳者				傍 聴 席				車椅子傍聴席(3台分)							

### 次回定例会のお知らせ

平成二十七年第三回定例会は、九月八日から開かれる予定です。主に、平成二十六年各会計歳入歳出決算が審査されます。本会議は、通常、初日と二日目に代表質問・一般質問、最終日に議案の議決等が行われます。本会議・委員会とも傍聴できますのでお気軽においでください。



### 全国市議会議長会表彰

地方自治の伸長発展と区政の向上振興に貢献した功績により、丸山高司議員が平成二十七年六月十七日、全国市議会議長会から二十年表彰を受けました。

### 議員派遣

地方自治法第百条第十三項及び渋谷区議会会議規則第百五十三条の規定により次のとおり議員を派遣する。

記

改選期における管外施設の視察について  
(目的)  
改選により新たに構成された区議会における今後の議員職務の遂行に資するため、区管外施設の現況等を総合的に調査する。

### 東京都後期高齢者医療広域連合議会議員選挙における候補者の推薦について

東京都後期高齢者医療広域連合規約(平成十九年三月一日東京都知事許可)第八条第一項の規定により次の者を東京都後期高齢者医療広域連合議会議員選挙の候補者として推薦を決定しました。

渋谷区議会議員 木村 正義

### 議会運営委員会委員一覧

- (◎委員長/○副委員長)  
平成27年6月12日現在
- ◎下嶋 倫朗 小柳 政也
  - 栗谷 順彦 田中正也
  - 治田 学 五十嵐千代子
  - 吉田佳代子 前田和茂
  - 斎藤竜一 葉丸義人
  - 佐藤真理 菅野茂
  - 久永 薫

### 特別委員会委員一覧

(◎委員長/○副委員長)  
平成27年6月12日現在

#### 自治権確立特別委員会

- ▼付議事件  
・自治権拡充・地方分権に関する調査並びに対策の件  
・二十三区共同事業に関する調査並びに対策の件
- ▼委員(定数七人)
- ◎前田和茂 鈴木建邦
  - 菅野茂 栗谷賢治
  - 齊藤貴之 栗谷順彦
  - 田中匠身

#### 交通・公有地問題特別委員会

- ▼付議事件  
・区内の交通問題に関する調査並びに対策の件  
・公有地問題に関する調査並びに対策の件
- ▼委員(定数七人)
- ◎佐藤真理 岡田麻理
  - 牛藤真己 秋元英之
  - 一柳直宏 古川斗記男
  - 吉田佳代子

#### 庁舎問題特別委員会

- ▼付議事件  
・庁舎のあり方に関する調査並びに対策の件
- ▼委員(定数十二人)
- ◎小柳政也 堀切稔仁
  - 藤井敬夫 下嶋倫朗
  - 松山克幸 沢島英隆
  - 治田学 五十嵐千代子
  - 須田賢 葉丸義人
  - 笹本由紀子 菅野茂

#### 五輪・パラリンピック対策特別委員会

- ▼付議事件  
・第三十二回オリンピック競技大会及び第十六回パラリンピック競技大会に関する調査並びに対策の件
- ▼委員(定数七人)
- ◎久永 薫 斎藤竜一
  - 芦沢明 丸山高司
  - 近藤順子 斎藤竜一
  - 伊藤毅志 丸山高司



# 常任委員会委員の紹介

（委員長／副委員長）平成 27 年 6 月 12 日現在

会派名略称

自由民主党Ⅱ渋谷区議会自由民主党議員団  
公明党Ⅱ渋谷区議会公明党  
日本共産党Ⅱ日本共産党渋谷区議会議員団

シブヤ笑顔Ⅱシブヤを笑顔にする会  
民主 党Ⅱ民主 党渋谷区議員団

# 会派等一覧

（幹事長／副幹事長）  
平成 27 年 5 月 20 日現在

## 総務委員会

9 人

企画部・総務部・会計管理室・選挙管理委員会・監査委員に関する事項並びに他の常任委員会に属さない事項

## 文教委員会

8 人

子ども家庭部・教育委員会に関する事項



◎齋藤 竜一 (さいとう りゅういち) 自由民主党  
代々木3-41-19-101  
TEL 5333-6735  
FAX 5333-6782



◎鈴木 建邦 (すずき けんぽう) 民主党  
富ヶ谷1-53-12-1106  
TEL/FAX 5738-0268



伊藤 毅志 (いとう たけし) シブヤ笑顔  
神宮前5-38-8 太陽マンション  
TEL 3409-4971  
FAX 3409-4966



五十嵐 千代子 (いがらし ちよこ) 日本共産党  
本町2-27-15-211  
TEL/FAX 3376-7859



岡田 麻理 (おかだ まり) シブヤ笑顔  
恵比寿南2-26-1-711  
TEL 3770-6577  
FAX 6745-8477



須田 賢 (すだ けん) 無所属  
元代々木町49-20-1077  
EL 6804-9632  
FAX 6804-9682



木村 正義 (きむら まさよし) 自由民主党  
本町4-44-1  
TEL 3378-3573  
FAX 3377-3890



丸山 高司 (まるやま たかし) 自由民主党  
本町2-7-12 marumaison5J  
TEL 3377-4094  
FAX 3377-8002



栗谷 順彦 (くりや よしひこ) 公明党  
富ヶ谷1-31-10-501  
TEL/FAX 3485-6509

## 区民環境委員会

8 人

危機管理対策部・区民部・都市整備部・土木清掃部に関する事項

## 福祉保健委員会

9 人

福祉部・健康推進部に関する事項



◎治田 学 (はるた まなぶ) 民主党  
笹塚3-54-6 アーバンプラネクス101  
TEL 6276-2224  
FAX 6276-2226



○田中 匠身 (たなか たかみ) シブヤ笑顔  
幡ヶ谷1-11-13-202  
TEL 5212-1415  
FAX 5212-1416



斉藤 貴之 (さいとう たかゆき) 自由民主党  
道玄坂2-18-11-103  
TEL 5428-8124  
FAX 5428-8125



松山 克幸 (まつやま かつゆき) 公明党  
本町1-24-3 プラントン本町301  
TEL/FAX 5388-7408



笹本 由紀子 (ささもと ゆきこ) 無所属  
代々木2-23-1-1118  
TEL/FAX 3374-4566



下嶋 倫朗 (しもじま りんたろう) 自由民主党  
笹塚2-44-4  
TEL 3378-3377  
FAX 3378-3409



沢島 英隆 (さわしま ひでたか) 公明党  
南平台町15-1-705  
TEL/FAX 3462-7767



苫 孝二 (とま こうじ) 日本共産党  
幡ヶ谷2-20-8-209  
TEL/FAX 3377-0257



藤井 敬夫 (ふじわら たかふみ) 自由民主党  
恵比寿南3-1-24-204  
TEL 6451-0585  
FAX 6451-0587



◎田中 正也 (たなか まさよし) 日本共産党  
本町4-53-2  
TEL/FAX 3320-0637



○古川 斗記男 (ふるかわ とくお) 公明党  
笹塚1-23-7  
TEL/FAX 3466-4626



藤井 敬夫 (ふじわら たかふみ) 自由民主党  
恵比寿南3-1-24-204  
TEL 6451-0585  
FAX 6451-0587



◎菅野 野 茂 (すがの の しげ) 日本共産党  
神宮前2-20-11-203  
TEL/FAX 3405-8483



○一柳 直宏 (ひとつやなぎ なおひろ) 自由民主党  
代々木5-34-22 レジダンス代々木公園411  
TEL 5738-2881  
FAX 5738-2882



堀切 稔仁 (ほりきり ねんじん) 無所属  
幡ヶ谷2-45-3 エスパスア エレ3F  
TEL 3374-5502  
FAX 3370-1992



佐藤 真理 (さとう まり) 自由民主党  
恵比寿4-4-2-301  
TEL/FAX 5350-1715



久永 薫 (ひさなが かおる) 公明党  
本町5-42-12 サンパレー 渋谷201  
TEL/FAX 6276-7152



小柳 政也 (こやなぎ まさよし) シブヤ笑顔  
東4-9-13 アバンダント2F  
TEL/FAX 6318-6125



近藤 順子 (こんどう じゅんこ) 公明党  
東1-13-1-210  
TEL/FAX 3486-7083



吉田 佳代子 (よしだ かよこ) 民主党  
本町6-38-6-306  
TEL 3373-7167  
FAX 3373-7165



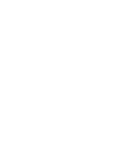
牛尾 真己 (うしお まさみ) 日本共産党  
広尾5-25-11 新比羅ワラーハイホーム C-402  
TEL/FAX 3446-4210



秋元 英之 (あきもと ひでゆき) 日本共産党  
上原3-18-4 スカイハイツ201  
TEL 5453-8116  
FAX 050-3737-6278



芦沢 一明 (あしざわ かずあき) 民主党  
初台2-13-19  
TEL 3379-5560  
FAX 3379-2363



小柳 政也 (こやなぎ まさよし) シブヤ笑顔  
東4-9-13 アバンダント2F  
TEL/FAX 6318-6125



前田 和茂 (まえだ かずしげ) 自由民主党  
東2-23-9-501  
TEL 3797-4467  
FAX 5468-3441



染谷 賢治 (そめや けんじ) 自由民主党  
富ヶ谷2-31-1  
TEL 3467-5143  
FAX 3465-2731



薬丸 義人 (やくまる よしと) シブヤ笑顔  
恵比寿2-17-20  
TEL 3444-7575  
FAX 3444-7578

編集後記

今回は、第二回臨時会、第二回定例会の内容を中心にお知らせいたします。

今後も親しみやすい紙面づくりに努めてまいります。

区議会事務局調査係

TEL 3463-1099  
FAX 3463-1099

電子メールアドレス  
kugikaku@city.shibuya.tokyo.jp

渋谷区議会自由民主党議員団  
TEL 3463-1034

○下嶋 倫朗  
TEL 3463-1034

○佐藤 真理  
TEL 3463-1034

○前田 和茂  
TEL 3463-1034

○斎藤 竜一  
TEL 3463-1034

○藤井 敬夫  
TEL 3463-1034

○栗谷 順彦  
TEL 3463-1034

○久永 薫  
TEL 3463-1034

○菅野 野 茂  
TEL 3463-1034

○一柳 直宏  
TEL 3463-1034

○堀切 稔仁  
TEL 3463-1034

○小柳 政也  
TEL 3463-1034

○近藤 順子  
TEL 3463-1034

○吉田 佳代子  
TEL 3463-1034

○牛尾 真己  
TEL 3463-1034

○秋元 英之  
TEL 3463-1034

○芦沢 一明  
TEL 3463-1034

○伊藤 毅志  
TEL 3463-1034

○鈴木 建邦  
TEL 3463-1034

○吉田 佳代子  
TEL 3463-1034

○鈴木 建邦  
TEL 3463-1034

○治田 学  
TEL 3463-1034

○須田 賢  
TEL 3463-1034

○笹本 由紀子  
TEL 3463-1034

○堀切 稔仁  
TEL 3463-1034